



学校だより

12月号

自ら学び考えることができる生徒

感性豊かで思いやりのある生徒

大田区人権教育研究協力校

「みんながいる わたしがいる
さしのべる 生きている」

令和5年12月1日

大田区立糀谷中学校

校長 小島 宏一郎

心身ともに健康な生徒

祝 開校70周年

11月25日 記念式典式辞より

校長 小島宏一郎

冬の訪れを告げる木枯らしにも負けず、遅咲きの菊が大輪の花を咲かせています。本日は、本校の開校70周年記念式典に、大田区教育委員会教育長 小黒仁史様、大田区立中学校長会会長 阿部仁明様をはじめ、多数のご来賓の皆様にご臨席いただき、記念式典を挙行できますことを、心から慶び、厚く御礼申し上げます。

さて、沿革誌より歴史を振り返ってみると、テレビ放送が始まった昭和28年、その年の6月19日に、羽田・東蒲、両中学校の校区変更により本校の新設が決まりました。7月に新校舎が上棟し、順調に進むかと思われていた工事ですが、この年に上陸した大小2つの台風の影響で、大幅に完成が遅れました。そのため、最初は羽田中学校の教室をお借りして、9月1日に、まず夜間学級の仮開校式が行われました。生徒数は24名でした。

昼間部については、羽田中学校からの分離予定の生徒はしばらくは羽田中でそのまま学習を続け、東蒲中学校からの分離予定の生徒は東糀谷小学校と糀谷小学校の教室を借りて、分かれて勉強しました。その間10月30日に、現在ある稻穂の校章が決まりました。

11月24日に校舎がほぼ完成し、まずは東蒲中学校からの分離生徒が編入し、この日を、「開校記念日」としました。続いて12月2日に、羽田中学校からの分離生徒が新校舎に入りました。最初の年の生徒は、1、2年生のみで、生徒数は657名と沿革誌に記されています。

東京下町の多くの地区がそうであったように、糀谷の地も、太平洋戦争末期の空襲で焼け野原になりました。そして、この地域は戦後の一時期米軍のキャンプ地となり、カマボコ兵舎が並んで立っていました。その後、米軍の接收から解除されると、草むらに家屋が点々と立ち始めました。糀谷中学校が開設されたのは、そんな戦争の傷跡がたくさん残っていた時代でした。開校にあたっては、荒野の様相を呈していたこの土地に、学校を立てることを決意した大田区の力強いご援助と、さらには地域の復興には教育が大切あると考えた地元の有志の方々の多大なご支援とご苦労がありました。そして開校から5年目の体育館の建設にあたり、用地を買い足した際には、13軒の方々が教育のためであるからと長年住んでいた土地を提供してくださいました。ご尽力いただいた地域やPTAの方々の、学校に対する大きな期待を忘れてはなりません。

夜間学級は、戦後の混乱期に、区内には貧困で働いている者や家事手伝いをしているため登校できない中学生が多くなったことから、本校に開設されました。24名でスタートした生徒数は、一気に増え、一年も立たないうちに百名を超える数になりましたが、その後、日本の経済的な発展とともに、生徒数が大きく減っていました。そして、国からは「夜間学級は早急に廃止すべし」との勧告が出されることになります。しかし、「一人でも希望してくるものがある間は続ける」という大田区教育委員会の姿勢に支えられ、時代のニーズに合わせ、通学する生徒の層は変化しながら、現在に引き継がれています。

本校は、開校当時から夜間学級が併設されていたのをはじめ、雪谷高校定時制に教室を貸したり、地域の青年学級が開かれたりし、正に地域の教育の要としての役割を果たし続け、この度開校70周年を迎えることになりました。これまで卒業生は、昼間部が19,208名、夜間部が946名になります。昭和、平成、令和といつも時代も糀谷中学校は、地域に支えられ、「心を磨き 身を鍛え 学び舎」として今日まで在り続けているのです。

現在本校は、都内で8校しかない夜間学級設置校でもあることから、大田区人権教育推進協力校として、豊かな人権感覚を育む教育を推進しております。1学年の「いじめ防止プログラム」や二学年の人権作文コンクールへの応募をはじめ、多くの人権に係わる取組を実施しています。正面玄関には、「みんながいる 私がいる さしのべる 生きている」と書かれた人権標語が掲げられています。これは平成20年度の生徒会役員が、全校生徒の意見を基に作成した標語で、「自分もみんなもいるだけで価値がある」「困っている人には温かい手を差し伸べる」という一人一人を大切にしようという思いが込められています。

また、地域とのつながりを大切にした教育にも力を入れております。1年生全員と夜間学級希望者が参加する学校防災活動拠点訓練と、3年生が区内の包括支援センターの協力のもとに実施する福祉体験は、「防災の町」「福祉の町」である糀谷地域の全面的な支援があってこそ毎年行うことができている本校の特色ある取組の一つです。

このように卒業生の思いや地域の思いが、糀谷中学校の教育の根幹をなしており、生徒の皆さんは多くの人の思いを知らず知らずの内に感じながら、日々成長

しているのだと思います。

昨年度の卒業生に「後輩に引き継ぎたい糸谷中の伝統」を尋ねたところ、多くの卒業生から「明るい挨拶」と「行事に全力で取り組むこと」が挙げられました。

生徒の皆さんには、1学期の国語の授業で、開校70周年をテーマにした短歌を作りました。皆さんのが作った短歌には、あいさつや体育祭・合唱コンクールなどの行事について詠んだ歌が多く見られました。

七十年 稲穂の校章（しるし）かかげてる
学び舎からの 元気なあいさつ
(2D [REDACTED])

盛り上がる 伝統行事 全力で
生徒みんなで 味わう青春
(3D [REDACTED])

挨拶も行事も人との関わりが大切です。人権教育推進協力校である本校にとっても、人との関わりは重要

生徒の活躍の記録から

【バレーボール部】

第67回東京都中学校バレー部新人大会
糸谷中●0-2○鳥山中（世田谷区）

【バドミントン部】

第66回東京都中学校バドミントン新人大会
糸谷中●1-2○瑞江中（江戸川区）

なテーマであるといえます。開校70年を迎えた節目に、生徒の皆さん改めて学ぶことの意義を考え、他者との関わりを大切にしながら、明るい未来へと、そして自分の夢に向かって、物事に全力で取り組んでくれることを期待しています。

七十回 受け継がれている 糸谷の
バトンを渡し また未来へと
(3B [REDACTED])
夢に向け 夕日が迎える 糸谷中
本を読む声 ひびく校庭
(夜間2年 [REDACTED])

結びに、このたびの記念行事に際し、七十周年実行委員長衣笠信明様をはじめ、実行委員の皆様、本校PTAや地域、卒業生の皆様に多大なるご支援・ご尽力をいただきましたことに、心から感謝申し上げ、式辞といたします。

【ソフトテニス部】

令和5年度ソフトテニス秋季区民大会

中学女子の部
第9位 [REDACTED] : [REDACTED] ペア
第9位 [REDACTED] : [REDACTED] ペア



【第52回大田区立中学校連合学芸会英語の部】

What I Am Thinking [REDACTED] (2A)
My Challenging Thought of English [REDACTED] (2B)

祝 全国大会出場

チアダンスのクラブチーム「PLANETS Dance Company」で活動している3年生の [REDACTED] さんが所属するJr.ダンス選抜チーム「Planets☆io（プラネット イオ）」が全日本チアダンス選手権関東予選に出場し、Pom部門 MEDIUM編成で予選を通過し全国大会に出場しました。全日本チアダンス選手権決勝大会は11月26日に開催され、「Planets☆io」は、インフルエンザ明けの選手が多く万全のコンディションではありませんでしたが、全国10位という立派な成績を収めました。



地球温暖化防止月間（環境省）

人権週間（法務省、4日～10日）

12月の行事予定

日	曜日	予定	日	曜日	予定
1	金	専門委員会、生徒評議会、生命尊重週間始	14	木	三者面談
2	土	社会を明るくする運動意見発表会	15	金	私立高校入試相談始
3	日		16	土	
4	月	全校朝礼、三者面談	17	日	
5	火	三者面談	18	月	
6	水	職員会議	19	火	避難訓練
7	木	三者面談	20	水	校内研修会(1, 2年研究授業)
8	金	三者面談、生命尊重週間終	21	木	
9	土	土曜補習	22	金	大掃除
10	日		23	土	
11	月	生徒会朝礼、安全指導、三者面談	24	日	
12	火	三者面談	25	月	終業式、中学生意見交換会
13	水	学年会			※始業式は1月9日(火)です。

